



Pick Up News

現在、私たち建築学科は主に6・7号館で学修・研究を行っています。この建物はもともと都市マネジメント学科が使用していた建物となります。おおよそ3年後、5号館が建て替わった後にあらためて新棟に引っ越しをする予定です。その後、この6・7号館は解体されて屋外空間が整備されることになっています。建築学科では、学生皆さんの教育環境を高め、また学修環境を向上させる目的で、一部の空間(床)の木質化計画を立て、整備を進めました。古い建物であっても、その環境づくり一つで快適性は変わり、居心地のよい場所になることを実感として、また経験として味わってもらえたらと思います。6号館3階など学生が多く往来する空間については、引き続き木質化を進めたく大学当局に相談しているところです。環境整備に関連して、気になることや提案があれば、ご意見いただければと思います。



5号館解体はじまる

建築学科の教室・研究室が入っていた5号館は老朽化のため解体工事がはじまっています。5号館は1968年の竣工から、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震をはじめ、これまでに多くの地震を経験してきましたが大きな被害もなく、学生の学びの場としての安全を確保してきました。その5号館のシンボルでもあった外付け鉄骨ブレースが、一部取り外されています(写真左奥)。この鉄骨ブレースは1978年宮城県沖地震の後に、建物の南北の構面に取り付けられたもので地震被害によって失った建物の耐震強度を本来保有すべき性能まで確保するために、本学の川股重也名誉教授らが開発した技術。耐震補強の先駆けとなった事例です。



台湾・中原大学との国際交流

台湾の中原大学より交換留学生2名が建築学部で学んでいます。錦織研究室でのゼミや、大学院の授業での建築見学などの活動に参加するといった、本学の学生との交流が行われています。



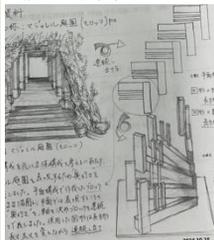
IUW和歌山2024

IUW和歌山2024「木と水のまちづくり」の発表会とシンポジウムが開催され、修士1年、齋藤研の秋葉美緒さん、高畑翔さん、永窪秋斗さん、錦織研の高橋りおさん、山田祐翔さんが参加しました。IUWは、関東・東北・関西の9つの大学・大学院の建築系チームが1年かけて提案し発表するもので、3回目は和歌山市で行いました。参加大学：足利大学、国土館大学、千葉工業大学、東京芸術大学大学院、東京大学大学院、東京理科大学工学部、東京理科大学創域理工学部、東北工業大学、和歌山大学(50音順)



Please follow us!

在学生が学生目線で情報発信してくれています。現在フォロワーは750。1,000を目指しています。よろしくお願ひします。

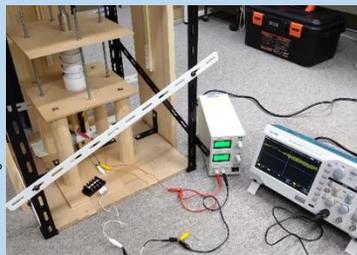


1年生講義レポート「造形演習」

建築造形のスタイロ模型の提出と講評会をしました。気になった建築作品から抽象的な形態を抽出し、スタイロフォームを使って立体にまとめあげる課題です。自分がつくった作品についてのレポートも作成し、どのような意図で制作したのか説明する力をつけていきます。最後は全員で人気投票をしました。

Pick Up Lab.

如中研究室では、振動台を使った建物の加振実験やシミュレーション解析を用いて地震に対する建物の構造特性の把握や損傷を抑制するための研究を行っています。木造建物を対象としたセミアクティブ制振装置の開発研究や、木造建築物接合部の振動応特性の把握に関する研究を通じて地震後も安全で安心して使える建物を目指して研究を進めています。10月から3年生が9名配属になり、研究室の活動がスタートしました。3年生のゼミでは、研究の基礎になる建築物の振動の勉強に取り組んでいます。座学での学習だけではなく、振動台と模型を用いた実験で、感覚と理論を関連付けて学んでいます。



木造用制振装置の実験の様子



振動模型作製の様子



4年 水口 怜 さん
多賀城高校 出身

Pick Up Student

大学に入学して4年、学生生活もあと残り少しくなりました。大学から建築を学び、その過程で私はインテリアに興味を持ち、将来は職人の仕事を志しています。きっかけは学外の学生やアルバイトでの社会人などとの交流から得られた経験が大きかったです。ただ、自分の時間と許容量を超えて取り組んでしまい、心の余裕がなくなってしまうことが度々あった為、時間と自分に向き合うべきだったなと後悔があります。外から無造作に多方面から知見を得られる事は学生だからこそできることである為、皆さんも時間と許容量を考えながら、進んで経験・交流を積み、自分の糧にして欲しいと思います。私も得たことをこれから社会・周囲に還元していきたいです。



1年 菅野 彩希 さん
福島成蹊高校 出身

Pick Up Student

大学に入学して半年以上が経ち、さまざまな経験を通じて多くのことを学びました。特に建築設計の授業では、5m×5m×5mの立方体の中に空間を作るという課題に取り組み、初めて自分のアイデアを模型にし、図面を描くことができました。初めての試みだったため、図面が正しいか不安でしたが、先生や友達に相談しながら無事に完成させることができました。放課後に友達と一緒に課題に取り組むのは大変ですが、とても楽しい時間です。また、授業以外でもまちづくりのワークショップに参加し、建築に対する理解が深まりました。これらの経験を通じて、建築に対する意識が高まり、今後の学びがますます楽しみになりました。これからも新しいことに挑戦していきたいです。